

ルポ

悼みの列島

あの日、日本のどこかで

むろたもとみ
室田元美 著

ライター。主に女性誌で活動。FMラジオでは旅番組の原稿を担当。共著に『戦争のつくりかた』（マガジンハウス）、『地球が危ない』（幻冬舎）ほか。

**戦争と人をめぐる旅。
語り伝える人びとをたずねて。**

もう過去のことなんて、いいんじゃない？ と思う人もいるかもしれないが、私の胸のなかには、石川啄木が「韓国併合」のおりに詠んだ「地図の上 朝鮮国にくるぐると 墨を塗りつつ秋風を聴く」が常に引っかかっている。



- ① レジャー湖の海底で起こったこと 「神奈川県・相模湖ダム」
- ② 地図から消された、毒ガスの島 「広島県・大久野島」
- ③ 8月は、もうひとつの鎮魂の月 「京都・舞鶴 浮島丸事件」
- ④ 骨を掘る、若者たち 「北海道宗谷郡 猿払村」
- ⑤ ひとの命の重さが計られた「長野県・松代大本営」
- ⑥ 「首都防衛」の名残りを歩く「千葉県・館山」
- ⑦ 「従軍慰安婦の碑」は語る「千葉県・かにた婦人の村」
- ⑧ 大都会のミステリー、人骨の謎を追う「東京都陸軍軍医学校跡地」
- ⑨ 異国で被爆した人びと「長崎県 岡まさはる記念長崎平和資料館」
- ⑩ 朝鮮半島との古い交流と、あの戦争「大阪府 タチソのトンネル群」
- ⑪ Yデーに備え、地下壕を掘った「横須賀市・貝山地下壕」
- ⑫ 住民の心にも残る「とげ」「秋田県・花岡事件」
- ⑬ 日中友好と反戦平和のために「埼玉県 中帰連平和記念館」
- ⑭ 鉱山で生きた人びとの記録「京都市 丹波マンガン記念館」
- ⑮ 心に刻み、石に刻む「神戸港 平和の碑」
- ⑯ 公害と労働運動、そして強制連行「栃木県・足尾銅山」
- ⑰ 行動するミュージアム「東京・私たちの戦争と平和資料館」(S&P)」
- ⑱ 同じ悲劇をわかちあうことの意味「東京都 東京大空襲」
- ⑲ 破れた海の底に眠る人びと「山口県宇部 長生炭鉱」
- ⑳ それでも飛行機をつくらうとした「愛知県・瀬戸地下軍需工場」
- ㉑ 語れる人がいなくなった、その後「東京都 関東大震災」
- ㉒ 抵抗の歴史から生まれたもの「高知県・平和資料館・草の家」
- ㉓ 鉄と石炭と戦争「福岡県・八幡と筑豊」

『月刊 自然と人間』連載ルポルタージュ待望の単行本化！

四六判並製 288頁
定価＝本体 2000円＋税



戦争を考えるのは難しい。歳月を経て、体験者の語る機会は少なくなる。著者は、日本の各地に残る「戦争の爪痕」の現在を訪ね、そこに生きる人たちに取材し、「戦争とは何か」を探る。加害と被害。歴史は単純ではなく、苦しい。その重みに悩む。だから人に聞き、人に語る。テレビやネットでは流れ伝わりにくい、草の根の「戦争」を知り、問われる「戦争のかたち」をこの本で知って欲しい。

社会評論社 新刊案内 2010年8月5日発売
東京都文京区本郷2-3-10 お茶の水ビル TEL03-3814-3861

★本状をFAXでお送り下さい。振替用紙同封の上、出荷いたします。担当・いたがき

送品先・お名前・お電話番号

冊数

お名前

〒

ご住所

お電話番号

様

ルポ 悼みの列島
室田元美 著

本状販売価格2000円
(消費税・送料小社負担)

注文→FAX03(3818)2808